

石巻市における被災者の健康支援体制

市保健師の役割：全体的なコーディネート（障害、精神的に不安定な人、乳幼児健診フォローなど母子支援、ケース会議、エリア会議）

仮設住宅

保健コーディネーター（看護師・保健師）
看護協会（蛇田、釜大街道、石巻、山下）：市委託
キャンパス（社鹿、半島）：市委託
市保健師十石巻市立開成仮設診療所（開成、南境、福井）
市保健師（各総合支所：仁泉会、渡波）

役割
健康調査・健康相談会・保健医療に関する訪問支援員等からの相談フォロー・確認のための訪問、関係機関との連絡調整
エリア会議、ケア会議、訪問支援員との情報交換会

（委嘱）石巻市社会福祉協議会

地域福祉コーディネーター 地域全体のコーディネート
エリア主任 ⇔ 訪問支援員

役割
○孤立予防 ○コミュニティ形成への支援
集会所の開放（サロン）
・独居世帯への定期的声かけ
・上記以外の見守りが必要世帯の定期的声かけ
・健康相談会や健康教室への呼びかけ
・見回り確認（サインのチェック）
・入居者からの各種相談を担当スタッフへつなぎ（健康面、経済面、施設面、その他）

民間賃貸仮設

健康調査及びアセスメント
宮城県、市
コーディネート及びフォロー
市保健師、看護協会、仁泉会スタッフ
（精神保健福祉士、保健師、看護師各1名）

復興住宅

入居時健康調査（アンケート調査）及びフォロー

情報交換・ケース会議
（情報共有、連携）

エリア会議

（情報共有、連携）

こころのケア
・（市委託）震災心のケア・ネットワークみやぎ（かこころステーション）
・（県委託）みやぎ心のケアセンター（石巻地域センター）
・日本ASW協会、国府台病院（教育委員会とも連携）

専門相談
・経済的な不安、家族関係（社会福祉士相談）
・歯科相談（県歯科医師会）
・栄養相談（栄養士）
・運動、生活不活発病等リハビリ相談

地域包括支援センター
（市委託：介護保険課）
（65歳以上の住民、ただし住民登録上の住所で担当）
・介護保険を利用している人
・介護保険を申請した方がいい人
・介護予防の対象となる人
・高齢者虐待の可能性あり

その他の関係機関
・訪問看護ステーション
・ボランティア団体
・その他

在宅被災者

健康調査、アセスメント及びフォロー
（市委託）
石巻医療圏健康・生活復興協議会
一沿岸部の津波被災世帯
情報共有及びフォロー（必要なケース）
市保健師
高齢者の継続的な見守り
（市委託：福祉総務課）フェアトレート東北
障害者相談支援（市委託：障害福祉課）
フリースペースKAI、ひまわり、くるみ

被災者の生活支援の全総括
被災市民生活支援課

健康支援事業

生活習慣病重症化予防事業
特定健診の受診勧奨、保健指導、健康教室、健康相談会

生活不活発病予防事業
運動教室、運動普及リーダー育成事業、遊びりてーション事業
リハビリテーション支援事業、ゆいっこプロジェクト（DVT検診、運動指導）

栄養食生活支援事業
栄養相談会、出前講座

口腔ケア対策
お口の健康相談会、歯と健康セミナー

こころのケア事業
メンタル講演会、こころの相談

復興基本計画施策大綱 2「市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す」

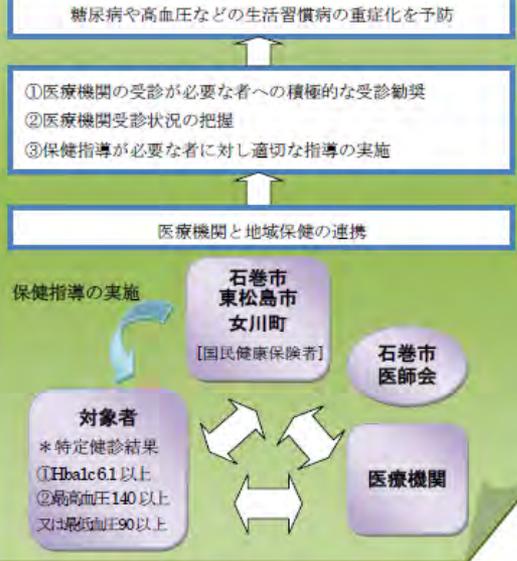
- ・仮設住宅 7,153戸（うち7,022戸入居）、入居者16,034人、134団地
 - ・民間賃貸住宅 5,136世帯、入居者13,522人
- <平成25年3月31日現在>

石巻市では東日本大震災による甚大な被害により、現在も約3万人が仮設住宅等で生活を余儀なくされており、避難生活の長期化による生活不活発状態やアルコール等への依存者が増加しています。被災者の生活再建を健康面から支えるため、各種復興事業を推進するとともにNPOや民間事業者等と連携した様々な健康支援を行っています。

特に、国民健康保険においては、東松島市・女川町とともに医療機関と連携し生活習慣病重症化予防事業を実施しています。



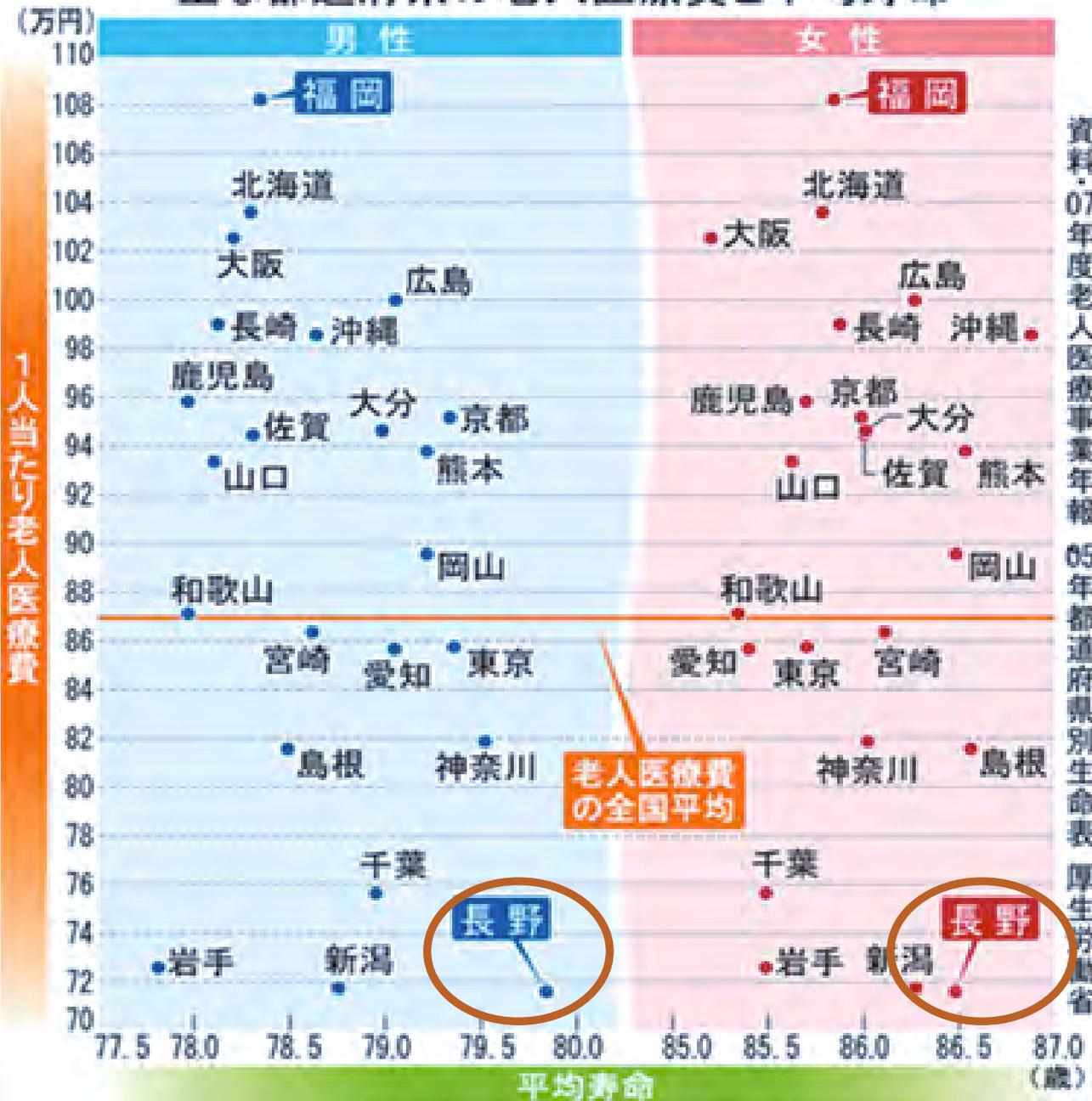
生活習慣病重症化予防のための「医療機関と地域保健の連携システム」



長野県の健康づくり



主な都道府県の老人医療費と平均寿命



今村 晴彦, 園田 紫乃, 金子 郁容 著

コミュニティのちから—“遠慮がちな” ソーシャル・キャピタルの発見



長野県の 保健補導員

女性の5人に1人が経験している
“不思議”な地域組織

地域のつながりの担い手

目 次

- 宮城県石巻市での在宅被災世帯調査
- 兵庫行動枠組み2005-2015とWHOオタワ憲章
- 日本での政策・石巻での例
- まとめ

まとめ

仙台 2015 (第3回国連防災世界会議)に向けて

- 全ての活動の中心に災害対策を置く
 - 自助・互助を支える公助の整備

- コミュニティを基盤としての現状把握と防災活動
 - Population Approach
 - 地域の資源、ステークホルダーの把握
 - 地域のエンパワーメント

- 保健部門と他の部門との協同
 - 「保健と福祉の連携」の地域のレベルでの実現
 - 保健側の「健康危機管理」施策や地区担当保健師の活動と福祉側の「地域福祉コーディネーター」の現場での連携

提 言

(4) 公衆衛生システムの改善

- ① 地域の健康危機対策の拠点としての保健セクターの機能の強化
- ② 保健セクターと福祉セクターの連携の強化
- ③ 社会関係資本の形成蓄積とそのための研究の推進
- ④ ボランティア：共助と公助の連携

この発表をまとめるにあたってご指導・ご援助いただいた下記機関の方々に深謝します

- 石巻医療圏 健康・生活復興協議会
- 祐ホームクリニック 石巻

- 宮城県石巻市役所健康部健康推進課

- 宮城県石巻市社会福祉協議会